

令和8年度
(第1回・第2回実施分)

危険物取扱者試験案内

この案内書を最後までよくお読みいただき、記載されている内容を十分にご了知いただいた上でお申し込みください。申し込まれた方は、この案内書に記載された全ての事項に同意されたものとみなします。

◎お申し込みは、電子申請(インターネット申込み)をぜひご利用ください。
試験案内は、当センターのウェブサイトでもご覧いただくことができます。

お知らせ

- ① 「**電子申請**」で手続をされる方は、その際に申請方法等を必ず当センターの**ホームページ** (<https://www.shoubo-shiken.or.jp/>) で**ご確認**ください。
- ② **受験用の写真**は、後日送付(電子申請の方は、自分で印刷)される「**受験票**」に**受験者自身で貼付**し、**試験当日に持参**してください(電子申請、書面申請とも)。試験当日**受験票(写真)**を**忘れた方は受験できません**。
- ③ 試験会場に**駐車場はありません**。来場の際は、公共交通機関をご利用ください。また、会場周辺での**違法・無断・迷惑駐車は、おやめください**。



一般財団法人 消防試験研究センター兵庫県支部

〒650-0024 神戸市中央区海岸通3番地 シップ神戸海岸ビル14階

電話 078-385-5799 FAX 078-385-5466

<https://www.shoubo-shiken.or.jp/>



目 次

1	試験の種類	P. 1
2	試験の日時	P. 1
3	試験の実施場所	P. 1
4	試験科目、問題数、試験時間及び試験の方法	P. 2
	(参考) 危険物の種類、免状の種類及び取扱いができる危険物	P. 2
5	甲種危険物取扱者試験	P. 3
6	乙種危険物取扱者試験	P. 3
7	丙種危険物取扱者試験	P. 3
8	合格基準	P. 4
9	複数種類の受験	P. 4
10	試験案内、受験願書及び試験手数料払込用紙の配布場所	P. 4
11	受験願書の申請方法、申請期間及び申請場所	P. 4
12	受験手続	P. 6
13	受験願書等記入要領	P. 7
14	試験手数料の額及び払込み方法等	P. 7
15	受験票の送付と写真の貼付	P. 9
16	受験票に関する注意事項	P. 9
17	試験当日の注意事項	P. 12
18	その他の注意事項	P. 12
19	合格発表	P. 12
20	免状交付申請の手続及び免状の交付	P. 12
21	個人情報の取り扱いについて	P. 14
22	問い合わせ先	P. 14
別記 1 甲種危険物取扱者試験の受験資格 P. 15		
別表 1	化学に関する学科等の例	P. 16
別表 2	化学の授業科目例	P. 16
書式例 1	専修学校用受験資格証明書	P. 19
書式例 2	単位修得証明書	P. 19
書式例 3	乙種危険物取扱実務経験証明書	P. 19
別記 2	受験願書の記入要領	P. 20

消防法（昭和23年法律第186号）第13条の5第1項の規定により兵庫県知事から委任された危険物取扱者試験を次のとおり実施します。

1 試験の種類

甲種 ・ 乙種第1類～第6類 ・ 丙種

2 試験の日時

回	実施日	種類		時間
第1回	令和8年6月7日(日)	甲種		13時15分～15時45分
		乙種第1・2・3・5・6類		13時15分～15時15分
第2回	令和8年10月11日(日)	乙種第4類	午前	10時00分～12時00分
			午後	13時15分～15時15分
		丙種		13時15分～14時30分

* 乙種第4類に係る試験時間の割り当ては、当センターで指定します。

3 試験の実施場所

受験願書の「受験地」欄には、下表の太枠内の地名を書いてください。

受験地	試験会場	備考
神戸市	兵庫県立兵庫工業高等学校 (神戸市兵庫区和田宮通2-1-63)	神戸市営地下鉄海岸線「和田岬駅」下車 北へ約200m
姫路市	姫路獨協大学 (姫路市上大野7-2-1)	J R・山陽電鉄の「姫路駅」より神姫バス⑧・⑨ バス乗場(乗車時間約25分)で「獨協大学前」下車
西宮市	大手前大学西宮夙川キャンパス (西宮市御茶家所町6-42)	J R「さくら夙川駅」下車 西へ徒歩約7分 阪急神戸線「夙川駅」下車 南へ徒歩約7分 阪神本線「香櫨園駅」下車 北へ徒歩約7分
豊岡市	兵庫県立豊岡総合高等学校 (豊岡市加広町6-68)	J R豊岡駅より北東へ約1km、徒歩約15分
丹波篠山市	兵庫県立篠山産業高等学校 (丹波篠山市郡家403-1)	J R篠山口駅より神姫バス『本篠山』行き 「本町」または「誓願寺」下車 徒歩約25分
洲本市	兵庫県立洲本実業高等学校 (洲本市宇山2-8-65)	淡路交通バス「宇山」下車 北西へ約1km 徒歩約10分

※試験会場の収容人員等の関係で、試験会場を変更する場合がありますのでご了承願います。

* 試験会場に駐車場はありません。周辺での違法・迷惑駐車等は、固くお断りします。

* 各試験会場となっている学校敷地内は禁煙です。

* 神戸市、豊岡市、丹波篠山市及び洲本市で受験される方は、上履きと脱いだ履物を入れる袋をご用意願います。

4 試験科目、問題数、試験時間及び試験の方法

種類	試験科目	問題数	試験時間	試験の方法
甲種	① 危険物に関する法令（法令）	15問	2時間 30分	筆記試験 (五肢択一式)
	② 物理学及び化学（物化）	10問		
	③ 危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法（性消）	20問		
	合計	45問		
乙種	① 危険物に関する法令（法令）	15問	2時間	筆記試験 (五肢択一式)
	② 基礎的な物理学及び基礎的な化学（物化）	10問		
	③ 危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法（性消）	10問		
	合計	35問		
丙種	① 危険物に関する法令（法令）	10問	1時間 15分	筆記試験 (四肢択一式)
	② 燃焼及び消火に関する基礎知識（燃消）	5問		
	③ 危険物の性質並びにその火災予防及び消火の方法（性消）	10問		
	合計	25問		

(参考) 危険物の種類、免状の種類及び取扱いができる危険物

類別	危険物の種類		危険物取扱者免状の種類及び取扱いができる危険物		
	性質	例示	甲種免状	乙種免状	丙種免状
第1類	酸化性固体	塩素酸ナトリウム、硝酸アンモニウム、過マンガン酸カリウムなど	全ての類の危険物	免状を取得した類(第1～6類)に該当する危険物	
第2類	可燃性固体	硫黄、赤りん、マグネシウムなど			
第3類	自然発火性物質及び禁水性物質	ナトリウム、リチウム、炭化カルシウムなど			
第4類	引火性液体	ガソリン、灯油、軽油、重油、ナフサ、トルエン、ギヤオイル、オリーブ油など			ガソリン、灯油、軽油など特定の危険物
第5類	自己反応性物質	ニトログリセリン、ピクリン酸、アジ化ナトリウムなど			
第6類	酸化性液体	過塩素酸、過酸化水素、硝酸など			

5 甲種危険物取扱者試験

甲種危険物取扱者試験の受験資格は、別記1「甲種危険物取扱者試験の受験資格」(P.15)のとおりです。

6 乙種危険物取扱者試験

(1) 受験資格は、必要ありません。

(2) 試験科目の免除

既に乙種危険物取扱者免状の交付を受けている(合格通知書又は免状交付申請中は対象外)方は、全類において「法令」・「物化」の全部が免除されます(下表ア)。

加えて、火薬類免状を有し、それでもって当試験科目の一部免除を申請する方は、乙種第1類及び第5類において「物化」及び「性消」の一部が免除されます(下表イ・ウ)。したがって、これらに該当する方は、受験願書の科目免除(火薬類免状)欄の「受ける」を必ず○で囲んでください。

なお、火薬類免状を有しない方は、当該欄(「受ける」「受けない」とも)記入する必要はありません。

	免除対象者	免除資格者	試験科目	免除内容	問題数	合計	試験時間
ア	全類	乙種危険物取扱者免状の交付を受けている方	① 法令	全部免除	0問	10問	35分
			② 物化	全部免除	0問		
			③ 性消	(免除なし)	10問		
イ	第1類 第5類	上記の方で、かつ火薬類免状を有し、科目の一部免除を申請する方	① 法令	全部免除	0問	5問	35分
			② 物化	全部免除	0問		
			③ 性消	一部免除	5問		
ウ	第1類 第5類	火薬類免状のみを有し、科目の一部免除を申請する方	① 法令	(免除なし)	15問	24問	1時間 30分
			② 物化	一部免除	4問		
			③ 性消	一部免除	5問		

(注)「火薬類免状」とは、次の免状を指します。

- ◇ 甲種、乙種及び丙種の火薬類製造保安責任者免状(火薬類取締法)
- ◇ 甲種及び乙種の火薬類取扱保安責任者免状(火薬類取締法)

7 丙種危険物取扱者試験

(1) 受験資格は、必要ありません。

(2) 試験科目の免除

丙種危険物取扱者試験における試験科目の免除については、下表のとおりです。

免除資格者	試験科目	免除内容	問題数	合計	試験時間
5年以上消防団員として勤務し、かつ、消防組織法第51条第4項の消防学校の教育訓練のうち基礎教育又は専科教育の警防科を修了した方	① 法令	(免除なし)	10問	20問	1時間
	② 燃消	全部免除	0問		
	③ 性消	(免除なし)	10問		

8 合格基準

甲種、乙種及び丙種危険物取扱者試験ともに、試験科目ごとの成績が、それぞれ60%以上の方が合格となります。

(試験科目の免除(全部免除)を受けた受験者は、その科目を除く。また、試験の一部免除がある場合、免除を受けた以外の問題で上記の成績を収めた方が合格となります。)

9 複数種類の受験

(1) 併願受験 (異なる試験時間帯(午前と午後)での受験)

同一試験会場で、試験が重ならない時間帯において2種類の受験が可能です。

【例】 午前に乙種を受け、午後に甲種、乙種あるいは丙種を受けることができます。

したがって、乙種第4類については「午前の部」と「午後の部」を受験することも可能です。(なお、この場合も電子申請は可能となっています。)

ただし、こうした併願受験を申請する場合、受験願書は必ず試験の種類ごと(乙種第4類同士の併願の場合は試験時間帯ごと)に必要です。

(2) 複数受験 (同一試験時間帯(午後)での受験)

「乙種危険物取扱者免状の交付を受けている方(合格通知者又は免状交付申請中は対象外)」に限り、その他の乙種試験を3種類まで同時に受験することができます(電子申請できません。願書は複数類分必要)。ただし、乙種第4類との複数受験はできません。

複数受験に係る試験時間は、2種類受験が1時間10分、3種類受験が1時間45分です。

※(1)及び(2)により複数種類の書面申請する場合、それぞれ試験の種類ごとに願書を作成し(受験手数料は複数分の一括払い込みも可)、複数分の願書の左上をホッチキス等で留めて一緒に提出してください。

10 試験案内、受験願書及び試験手数料払込用紙の配布場所

兵庫県内各消防本部(局) 兵庫県各県民局(センター) 姫路市役所家島事務所
兵庫県危機管理部消防保安課 (一財)消防試験研究センター兵庫県支部

11 受験願書の申請方法、申請期間及び申請場所

(1) 申請方法

受験願書の申請方法は、電子申請(インターネットからの受験申請)と書面申請(願書による受験申請)の2通りがあります。

具体的な受験手続は、12 受験手続をご覧ください。

なお、団体で電子申請を予定されている場合は、事前にご担当の方から当センター兵庫県支部にご連絡くださるようお願いいたします。

(2) 申請期間（試験回数・申請方法によって申請期間が異なります。）

回	申請方法	申請期間	備考
第1回	電子申請	令和8年4月16日(木)～4月23日(木)	初日の9時から最終日の終日まで
	書面申請		最終日の消印有効
第2回	電子申請	令和8年8月21日(金)～8月28日(金)	初日の9時から最終日の終日まで
	書面申請		最終日の消印有効

(3) 申請場所

*書面申請の提出先

(一財)消防試験研究センター 兵庫県支部

〒650-0024 神戸市中央区海岸通3番地 シップ神戸海岸ビル14階

*提出方法

- ①郵送 ・必ず**書留郵便**など送達確認が可能な郵便で送付してください。
- ・申請期間最終日の消印まで有効
 - ・願書は折り曲げないでA4サイズ用の封筒で送付してください。なお、クリアホルダーや厚紙等の添付は不要ですので、これらは同封しないでください。
 - ・同一の封筒に、複数人の願書を同封する場合は、「受験者名、受験地、試験種類」を列記したメモを添付してください。
- ②持参 (一財)消防試験研究センター兵庫県支部へ持参の場合は、申請期間内の土・日・祝日を除く9:00～17:00の間

*願書の提出にあたっての注意事項

- ①県内各消防本部（局）での願書受付はしていません。
- ②受験願書は、次の **12 受験手続** をよく読んで作成してください。
- ③郵送による場合は、申請期間最終日までの消印で、かつ願書が正確に記入され必要書類がそろっているものに限り受理します。できるだけ申請期間内の早めの時期に手続してください。
- ④願書提出後の変更には応じられません。
- ⑤受験のために提出された書類は、不受理扱いになったもの以外一切お返しいたしません。また、手数料も原則としてお返しいたしません。
- ⑥願書の記入文字が乱雑で判読できないものや、虚偽の記載をしたり、虚偽の証明書を提出した場合は、受験を拒否し、又は合格を取り消すことがあります。
- ⑦車椅子等での受験の方は、願書提出前に(一財)消防試験研究センター兵庫県支部へご連絡ください。
- ⑧その他受験手続に不明な点があればお問い合わせください。

12 受験手続

受験申請方法は電子申請と書面申請の2通りがあります。

(1) 電子申請

ア 申請方法

一般財団法人消防試験研究センターホームページ (<https://www.shoubo-shiken.or.jp/>) から申請を行ってください。なお、詳細にあっては同ホームページをご覧ください。

イ 受験資格証明書等のご準備

危険物取扱者免状以外の資格で、試験科目の一部免除を希望又は甲種危険物取扱者試験を受験する方は、別記1等を参照し、証明書類を電子ファイル化（JPEG形式又PDF形式）したものを申請情報入力画面に従ってアップロードしていただきますので、ご準備をお願いします。

証明書類が旧姓で現在の姓と一致しない場合、新旧の氏名が確認できる書類を証明書類と併せてアップロードしてください。（例：運転免許証（旧姓記載）、戸籍抄本、住民票等）

電子ファイル化に際しての留意事項

- 1 電子ファイル化は、
 - ① デジタルカメラ・スマートフォンで撮影したもの又はスキャンしたもの
 - ② 証明書類の全体が鮮明に確認できるもの
 - ③ 印影が欠けていないものとしてください。
- 2 証明書類を撮影する場合は、机等の平らな場所に置いて全体を写し、ピントを合わせて鮮明に撮影してください。
- 3 原本を確認させていただく場合がありますので、原本は保管しておいてください。
- 4 アップロードできるファイルサイズは合計10メガバイトまでです。

【ご注意】

ご自身の受験資格の有無は、必ず事前に本試験案内、ホームページでご確認ください。ご不明な場合は、試験を実施する支部等（東京の場合は、中央試験センター）にお問い合わせください。

ウ 注意事項

スマートフォンからも電子申請はできますが、願書情報の入力において、携帯電話会社の提供するメールアドレスやフリーメールアドレスを登録された場合は、携帯電話会社やフリーメール運営会社が行っている迷惑メール対策等により、当センターから送るメールが受信できないことがあります。

詳細は、（一財）消防試験研究センターホームページ（<https://www.shoubo-shiken.or.jp/>）をご覧ください。



(2) 書面申請

受験する種類（乙種危険物取扱者試験の受験者は、類）ごとに、次の書類が必要です。

ア 受験願書

イ 甲種危険物取扱者試験の受験者は、受験資格（前記5）に係る別記1（P.15）中の「証明書類」欄の書類を提出してください。

※ 卒業証書、免状等は、コピー（縮小も可）して貼り付けてください。

ウ 乙種危険物取扱者試験において、試験科目の免除を受ける受験者は、「乙種危険物取扱者免状」、「火薬類免状」の写し（コピー）を提出してください。

なお、「乙種危険物取扱者免状」の記載事項（氏名、生年月日、本籍）に変更がある場合は、事前（受験願書提出と同時も可）に「危険物取扱者免状書換申請書」による手続きが必要です。

エ 丙種危険物取扱者試験において、試験科目の免除を受ける受験者は、「5年以上消防団員として勤務したことを証明する書類」（消防団長等が証明するもの）及び「消防学校の基礎教育又は専科教育の警防科を修了したことを証明する書類」（消防学校長が証明するもの）を提出してください。なお、証明書類はコピー可となります。

オ 振込用紙で試験手数料の振込みをした方は、試験手数料の「振替払込受付証明書（お客さま用）受験願書貼付用」

カ 「危険物取扱者免状」を取得している方は、既得免状のコピー（表・裏とも（上記「資格の証明」、「試験科目の免除」の有無にかかわらず、同免状取得者は全員必要です。）

キ その他

過去にいずれかの支部で甲種の試験を受験したときの受験票若しくは受験票(控)又は試験結果通知書（いずれも、資格判定コード欄に番号が印字されているものに限る。）を提出することにより、甲種の受験資格の証明に代えることができます（コピー可）。

13 受験願書等記入要領

別記2の「受験願書の記入要領」（P.20）を参照してください。

14 試験手数料の額及び払込み方法等

(1) 試験手数料

試験手数料は下記のとおりです。

甲 種	乙 種	丙 種
7, 200円	5, 300円	4, 200円

(2) 電子申請の場合の払込方法

払込方法は、次の決済方法から選択できます。試験手数料の払込みには、所定の払込手数料が必要になります。

ア ペイジー（Pay-easy）決済 ※情報リンク方式、オンライン方式

イ コンビニエンスストア決済（セブン-イレブン、ファミリーマート、ローソン、ミニストップ、セイコーマート、デイリーヤマザキ及びヤマザキデイリーストア（その他のヤマザキ系列店舗はPOSレジ設置店のみ））

ウ クレジットカード決済（VISA、Master Card、JCB、アメリカンエクスプレス、ダイナース）

エ スマホ決済（PayPay、メルペイ）

※ 一般財団法人消防試験研究センターでは、電子申請に係る試験手数料の収納に関して、全て三井住友カード株式会社に業務委託しております。

(3) 書面申請の場合の払込方法

① 郵便局での払込み（払い込み用紙の場合）

ア 受験願書と一緒に受領した所定の払込用紙により、前(1)の試験手数料を郵便局又はゆうちょ銀行の窓口で払い込んでください（機械振込による払込は不可）。その際、**受験願書貼付用の「振替払込受付証明書（お客さま用）受験願書貼付用」**に窓口の日付印が押されているか必ず確認してください。また、試験手数料の払込みには、所定の払込手数料が必要です。

イ 次に「振替払込受付証明書（お客さま用）受験願書貼付用」を受験願書B面の試験手数料欄にのり付けしてください。（受験者保管用の「振替払込請求書兼受領証」では無効となりますので、注意してください。）

また、複数種類の受験の場合は、それぞれの受験願書B面の試験手数料欄にのり付けして下さい。（複数分の試験手数料を合算のうえ一括払い込む場合は、いずれかの受験願書の所定欄に貼付し、他の受験願書（所定欄）に、必ずその旨をメモ書きしてください。）

ウ 「振替払込受付証明書（お客さま用）受験願書貼付用」を紛失、汚損等により受験願書に貼付できない場合、当センターでは責任を負えませんので、くれぐれも紛失、汚損等しないようにしてください。

紛失、汚損等した場合は、再度払込みの上、新たな「振替払込受付証明書（お客さま用）受験願書貼付用」を受験願書に貼り付けてください。

なお、再度払い込みをした後で、紛失した「振替払込受付証明書（お客さま用）受験願書貼付用」を発見したときは、還付申請により先に払い込まれた試験手数料をお返しします。

② 願書B面の2次元コードを経由した払込み

払込方法は、次の決済方法から選択できます。

試験手数料の払込みには、所定の払込手数料が必要になります。

ア 振込み方法は、上記（2）電子申請の場合と同じ。

イ 決済完了後、決済完了メールに記載されている**決裁完了番号(18桁)**を受験願書B面の**決裁完了番号記入欄に記載**してください。（受験願書と2次元コードは、固有の識別番号でペアになっています。必ず2次元コードを読み込んだ願書で申請願います。）

(4) 一旦払込みされた試験手数料は、お返しできません。

15 受験票の送付と写真の貼付

(1) 受験票の送付方法

ア 電子申請の場合

電子申請締切後、申請時に入力された電子メールアドレスあてに受験票がダウンロードできる旨のメールを（試験日の10日前頃）当センターから送信します。受験者自身で受験票をダウンロードして、縮小・拡大せずにA4サイズで印刷し、**試験当日必ず持参**してください。

イ 書面申請の場合

試験日の10日前頃に郵送します。5日前になっても到着しない場合は、本人が直接連絡してください。

受験票を受け取ったときは、試験会場、試験の種類、科目免除等申請した内容と異なっていないか確認してください。異なっている場合は試験日の5日前までに必ず申し出てください。試験当日での申し出には応じられません。

また受験票は、**試験当日必ず持参**してください。

(2) 写真について（電子申請、書面申請共通）

写真は、受験日前6か月以内に撮影した正面、無帽（宗教上又は医療上の理由がある場合を除く。）、無背景、上三分身像のもので、鮮明なもの（大きさは縦4.5cm×横3.5cm、裏面に氏名、年齢及び撮影年月日を記入）を1枚準備して、受験票に貼ってください（複数受験の場合は各受験票ごとに必要）。

デジタルカメラで撮影されたものは、写真専用紙で印刷した鮮明なものとしてください。

写真は受験者本人の確認及び危険物取扱者免状の作成に使用します。（※前髪が目にかかる等、本人確認がしづらい写真は避けてください。）

試験当日は、写真を貼った受験票を必ず持参してください。

(3) 受験票の氏名欄は、受験者自身が「かい書」で氏名を記入してください。

（電子申請、書面申請共通）

16 受験票に関する注意事項

(1) **試験当日受験票を持参しないと受験できません。**

(2) 受験票に前記15に示した**写真を貼付していない又は貼付写真が不鮮明な場合には受験できません。**（写真の貼付位置は次ページ受験票見本の**朱書き太線部分**です。）

(3) 試験問題集及び解答カードは持ち帰ることはできません。また、問題集の一部を切り取りたりカメラ等で撮影すること、参考書、法令集等の参照も一切できません。

(4) 携帯電話、スマートフォン、スマートウオッチ等の電子機器は必ず電源を切り、カバン等にしまってください。（これらの電子機器類を時計として使用することはできません。）

(5) カンニング等により不正行為とみなされた場合、受験は直ちに中止、退室となり、試験は失格となります。

（受験票見本（イメージ）は次のページ）

【電子申請者受験票】 ※受験票はイメージです。

注意事項

- 1 次の場合は受験することができません。
 - (1) 受験票がない場合
 - (2) 受験票に写真を貼っていない場合
 - (3) 受験票に本人と確認できない写真を貼っている場合
- 2 受験票に記載している集合時間までに入室してください。
- 3 受験票、鉛筆（B又はHB）、消しゴムを持参してください。
- 4 試験会場への電話の問い合わせはしないでください。
- 5 不正行為及び係員の指示に従わない場合は退場を命じ、失格とします。
- 6 本人確認のため、身分証明書（運転免許証等）の提示をお願いすることがあります。
- 7 電話による可否の問い合わせには、応じられません。
- 8 試験会場外での特定業者による試験結果通知の有料サービスは当センターと一切関係ありませんので、注意してください。
- 9 試験日時を変更する場合には、当センターのホームページに掲載します。特に、気象庁が発表する特別警報等の防災情報に対処して延期等する場合の緊急情報は、試験開始時間の2時間前までに掲示します。
- 10 試験会場は全面禁煙です。
- 11 来場は、公共交通機関を利用してください。
- 12 試験室内では、携帯電話等は電源を切りカバン等へ収納してください。
- 13 受験願書に記入した内容と受験票の内容が違っている場合等は、必ず試験日の3日前までに本人が直接連絡してください。（氏名の字の違い、住所変更については当日で結構です。）

〒650-0024 兵庫県神戸市中央区海岸通3番地
 シップ神戸海岸ビル14階
 (一財) 消防試験研究センター兵庫県支部 TEL 078-385-5799

危険物取扱者試験 受験票



写真
 縦4.5cm×横3.5cm
 写真の裏面に氏名・年齢及び撮影年月日を記載
 6か月以内に撮影したものの（正面、無帽（宗教上又は医療上の理由がある場合を除く）、無背景、上三分身像）
 しっかりのり付けてください。（セロハンテープ不可）

受験番号	E1-4000	試験の種類	乙種第4類
カナ氏名	シヨウボウ タロウ		
氏名	受験者氏名を「かい書」で記入してください。		
試験日時	令和08年06月07日 [1/2] 09時30分集合 10時00分試験開始		
試験会場	兵庫県立兵庫工業高等学校（神戸市兵庫区和田宮通2-1-63）		
(試験室)	第10試験室		
免除科目	免除科目なし	資格判定コード	00
既得免状	281502064001E140003 免なし 001-01-0001 14000 999 9999		

試験当日、この受験票は回収します。

切り取ってください

危険物取扱者試験 受験票（控）

受験番号	E1-4000	試験の種類	乙種第4類
カナ氏名	シヨウボウ タロウ		
氏名	消防 太郎		
試験日時	令和08年06月07日 (1/2) 09時30分集合 10時00分試験開始		
試験会場	兵庫県立兵庫工業高等学校（神戸市兵庫区和田宮通2-1-63） ※上履き持参願います。		
(試験室)	第10試験室		
免除科目	免除科目なし	資格判定コード	00
既得免状			
受験者現住所	兵庫県〇〇市〇〇町 1-23-45		

注：記載内容を確認し、訂正箇所がありましたら、ご連絡ください。
 注意事項をよくお読みください。

受験の際は、試験会場をご確認ください。
 次の場合は受験することができません。
 1 受験票がない場合
 2 受験票に写真を貼っていない場合
 3 受験票に本人と確認できない写真を貼っている場合
 この受験票（控）は、合格発表の確認と再受験の申し込みに必要ですので、大切に保管してください。

※「切り取り線」で切り取ってください。

【書面申請者用受験票】 ※受験票はイメージです。

危険物取扱者試験 受験票（控）

受験番号	E1-4000	試験の種類	乙種第4類
カナ氏名	ショウボウ タロウ		
氏名	消防 太郎		
試験日時	令和08年06月07日 [1/2] 09時30分集合 10時00分試験開始		
試験会場	兵庫県立兵庫工業高等学校（神戸市兵庫区和田宮通2-1-63） ※上履き持参願います。		
(試験室)	第10試験室		
免除科目	免除科目なし	資格判定コード	00
既得免状			

注：記載内容を確認し、訂正箇所がありましたら、ご連絡ください。
受験票裏面の注意事項をよくお読みください。

受験の際は、試験会場をご確認ください。
次の場合は受験することができません。

- 1 受験票がない場合
 - 2 受験票に写真を貼っていない場合
 - 3 受験票に本人と確認できない写真を貼っている場合
- この受験票（控）は、合格発表の確認と再受験の申し込み
に必要ですので、大切に保管してください。

危険物取扱者試験 受験票



受験番号	E1-4000	試験の種類	乙種第4類
カナ氏名	ショウボウ タロウ		
氏名	受験者氏名を「かい書」で記入してください。		
試験日時	令和08年06月07日 [1/2] 09時30分集合 10時00分試験開始		
試験会場	兵庫県立兵庫工業高等学校（神戸市兵庫区和田宮通2-1-63）		
(試験室)	第10試験室		
免除科目	免除科目なし	資格判定コード	00
既得免状			

2815020614001E140003 免なし
001-01-0001 14000 999 9999

試験当日、この受験票は回収します。

写真

縦4.5cm×横3.5cm

写真の裏面に氏名・年齢及び
撮影年月日を記載
6か月以内に撮影したもの
（正面、無帽（宗教上又は医療
上の理由がある場合を除
く。）、無背景、上三分身像）

しっかりとり付けてくださ
い。（ゼロハンテープ不可）

切
り
取
り
線

※「切り取り線」で切り取ってください。

17 試験当日の注意事項

- ① 試験当日は**写真**を貼った受験票のほかに、HB又はBの鉛筆数本と消しゴムを必ず持参してください。
- ② テンプレート等の定規類、電卓、携帯電話等は一切使用できません。
- ③ 試験会場に駐車場はありません。来場の際は、公共交通機関をご利用ください。
もし自動車でお越しの場合、最寄りの有料駐車場等正当な場所での駐車をお願いしています。
この場合、周辺路上等からの移動に時間を要し、受験できなくなることもあります。
また、**近隣スーパー、コンビニ等駐車場での無断駐車、周辺住宅地等路上での迷惑駐車は絶対におやめください。**
- ④ 試験開始30分前に集合し、受験に当たっての注意事項の説明を受けてください。

18 その他の注意事項

- ① 当センターへ一旦提出し、受理された受験申請書類は、一切お返しできません。
- ② 受験票は、書面申請の場合、試験日のおおむね10日前に郵送いたします。電子申請の場合、試験日のおおむね10日前頃に受験票がダウンロードできる旨のメールを登録アドレスに送信します。いずれも、未着の場合はお問い合わせください。
- ③ 事故等により、会場や日程を変更する場合には、兵庫県支部からの緊急情報としてホームページに掲載します。特に、気象庁が発表する特別警報等の防災情報に対処して延期する場合の緊急情報は、試験開始時刻の2時間前までに掲示します。

19 合格発表

- (1) 合格発表予定日（都合によりずれ込むこともあります。）

第1回	令和8年6月26日
第2回	令和8年10月30日

- (2) 合格者については、受験番号（合格者分）を当センターのホームページに掲載する（上記期日の正午から）とともに、兵庫県支部の掲示板に公示します。また、受験者全員に結果通知書を郵送します。

なお、試験結果の合否に関する電話による問い合わせ、試験問題及びその解答に関する問い合わせには、一切応じられません。

- (3) 当センターにおける合格発表に関する方法は上記のみであり、試験会場等での特定業者による結果通知の有料サービスなどがあっても、当センターとは一切関係ありませんのでご注意ください。

20 免状交付申請の手続及び免状の交付（この項目は試験合格者のみ）

- (1) 結果通知書・免状交付申請書（圧着ハガキでお送りしますので、切り離さないで申請してください）

※ 氏名・電話番号を記入

☆免状に旧姓併記を希望される場合は、事前に当支部へご連絡ください。

※ 兵庫県収入証紙 **2,900円**分を過不足なく貼付（複数の試験に合格された方は、それぞれ合格した種類ごとに **2,900円**分）してください。

※ 兵庫県収入証紙は、兵庫県内の三井住友銀行等で販売しています。詳しくは、一般財団法人消防試験研究センター兵庫県支部のホームページ上の「証紙の入手先」をご覧ください。

※ 他府県にお住まいの方で兵庫県収入証紙の購入が困難な方は、上記ホームページから「郵送による売りさばきについて」をご確認いただき、申し込んでください。

(2) 免状送付（返送）用封筒（できた免状を申請者に送るための封筒。折りたたみ可）

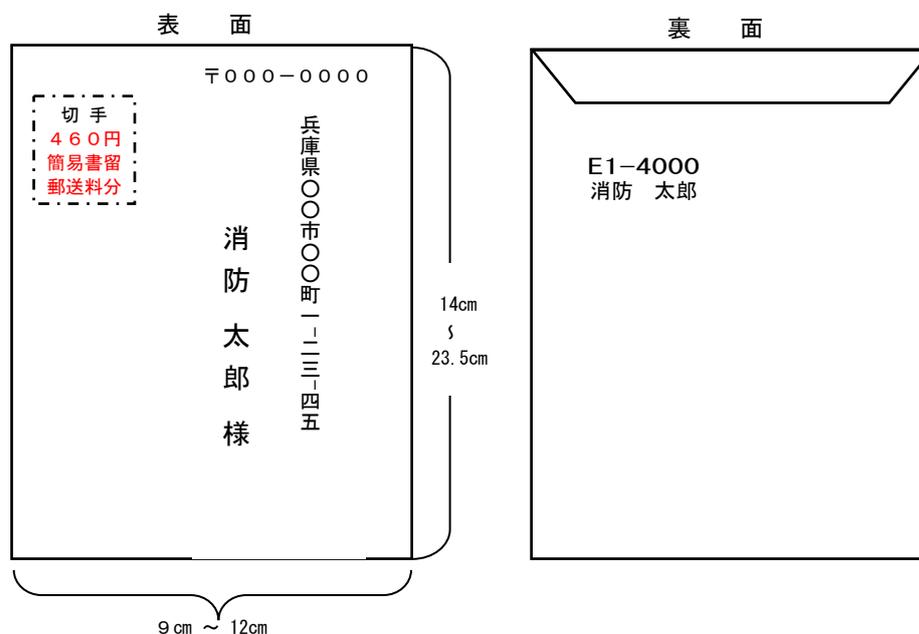
サイズ 定型（下図記載の寸法範囲内のもの）

表面 免状の送付先・住所氏名を記入

（勤務先でも可。ただし、本人あて以外の場合は委任状が必要⇒次ページ参照）

460円（簡易書留郵送料）分の切手を貼付

裏面 上部に受験番号・氏名を記入（同一人が複数種類の申請をする場合、封筒は1通で結構ですが、受験番号はすべてを記入してください。）



(3) 危険物取扱者免状（現在すでに交付を受けている方のみ、免状ケースの提出は不要）

○ 免状交付申請書提出先

一般財団法人消防試験研究センター 兵庫県支部

〒650-0024 神戸市中央区海岸通3番地 シップ神戸海岸ビル14階

○ 提出方法

上記提出先に、持参又は郵送(※)してください。

※「簡易書留」郵便で送付してください。

○ 免状交付申請期限

合格発表日から10日以内（結果通知書に記載）

○ 免状交付予定日

上記「免状交付申請期限」最終日から約1か月後の予定

○ 職業が自動車運送業（タンクローリー）の方は、事前に連絡してください。

(4) 委任状

企業などで複数の申請者分等に係る免状交付の代理受領を希望する場合は、「委任状」（書式任意）が必要です。

(書式例)

委 任 状
危険物取扱者免状の受領に係る一切の権限を次の者に委任します。

受任者 氏 名 消防 太郎

令和〇〇年〇〇月〇〇日

委任者 氏 名 兵庫 花子 印

氏 名 試験 二郎 印

・
・

21 個人情報の取り扱いについて

一般財団法人消防試験研究センター（以下「当センター」という。）は、危険物取扱者及び消防設備士試験の実施と免状作成業務を行っています。

当センターは、試験及び免状事業の実施機関として個人情報を取り扱っていますので、個人情報の重要性を十分認識し、その保護の徹底を図るとともに、個人情報の保護に関する法令及びその他の関連する規範を遵守し、収集した個人情報は、正確、かつ、安全に取り扱います。

1 当センターの個人情報の内容と利用目的は次のとおりです。

① 個人情報の内容

氏名(申請者、団体代表者)、生年月日、本籍、住所、電話番号、勤務先名、学校名、職業、顔写真、メールアドレス等です。

② 利用目的

利用は、本人確認、本人への通知・連絡、免状作成、免状交付状況に係る事項等の当センターの業務の範囲内で行います。

2 当センターは、利用目的を達成するため、当該情報を業務委託先に預託する場合があります。その場合の業務委託処理は、個人情報を保護するための措置及び業務委託先との責任関係の明確化を図るとともに、業務機器等の安全対策を確実に実施しています。

なお、個人情報の提供は、団体受験に関し当該団体代表者へ提供するもの及び法令等に基づくものに限定し適切に取り扱います。

22 問い合わせ先

(1) 受験に関すること

一般財団法人 消防試験研究センター 兵庫県支部 電話：078-385-5799

受付時間 9：00～17：00（土日、祝日を除く。）

(2) 電子申請に関すること

電子申請（インターネットからの受験申請）については、当センターのホームページに詳細な利用方法や、Q & Aが掲載されていますので、電子申請に当たっては、必ずこれをご確認のうえお申込みください。

なお、電子申請に関するトラブル等の問い合わせは下記までお願いします。

一般財団法人消防試験研究センター電子申請室 専用電話：0570-07-1000

受付時間 9：00～17：00（土日、祝日を除く。）

一般財団法人消防試験研究センターホームページ <https://www.shoubo-shiken.or.jp/>

※ 一般財団法人消防試験研究センターは、試験実施機関であり、受験準備のための講習会や参考書等の出版は、一切行っておりません。

別記 1

甲種危険物取扱者試験の受験資格

次表に示す対象者に該当する方は、甲種危険物取扱者試験の受験資格があります。

対象者	大学等及び資格詳細	願書資格欄記入略称	証明書類
〔1〕 大学等において <u>化学に関する学科等を卒業した方</u> （専門職大学の前期課程を修了した方） （別表1参照）	大学、短期大学、高等専門学校、専修学校 大学・短期大学・高等専門学校・高等学校・中等教育学校の専攻科 防衛大学校、職業能力開発総合大学校、職業能力開発大学校、職業能力開発短期大学校、外国に所在する大学等 専門職大学の前期課程を修了 ※必須科目の履修状況によっては、受験資格が認められない場合があります。	大学等卒	卒業証明書、卒業証書 又は 学位記 （学科等の名称が明記されているもの）
〔2〕 大学等において <u>化学に関する授業科目を15単位以上修得した方</u> （別表2参照）	大学、短期大学、高等専門学校（高等専門学校は専門科目に限る）、大学院、専修学校 大学・短期大学・高等専門学校の専攻科 防衛大学校、防衛医科大学校、水産大学校、海上保安大学校、気象大学校、職業能力開発総合大学校、職業能力開発大学校、職業能力開発短期大学校、外国に所在する大学等	15単位	単位修得証明書 又は 成績証明書 （修得単位が明記されているもの）
〔3〕 乙種危険物取扱者免状を有する方	乙種危険物取扱者免状の交付を受けた後、危険物製造所等における危険物取扱いの実務経験が2年以上の方（証明者が証明した日に基準を満たすこと。）	実務2年	乙種危険物取扱者免状 及び 乙種危険物取扱実務経験証明書
	次の4種類以上の乙種危険物取扱者免状の交付を受けている方 ○第1類又は第6類 ○第2類又は第4類 ○第3類 ○第5類	4種類	乙種危険物取扱者免状
〔4〕 修士・博士の学位を有する方 （別表1参照）	修士、博士の学位を授与された方で、化学に関する事項を専攻したもの（外国の同学位も含む。）	学位	学位授与証明書、学位記、終了証書又は修了証明書（学位を取得していること、かつ、化学に関する事項を専攻したことがわかるもの）

※証明書類については、**原本又はコピーしたものを添付してください。**

〔備考〕

- 〔1〕の高等学校及び中等教育学校の専攻科については修業年限が2年以上のものに限ります。
- 〔1〕、〔2〕の専修学校については、修業年限2年以上、総授業時数1700時間以上の専門課程に限り認められ、証明書類として表の書類のほか次のいずれかの書面が必要になります。（ただし、表の証明書類に次の(1)又は(2)の内容が記載されている場合は、次の(1)又は(2)の書面は不要です。）
(1) 専門士又は高度専門士の称号が付与されていることを証明する書面又はその写し
(2) 専修学校の専門課程の修業年限が2年以上で、かつ、課程の修了に要する総授業時数が1700時間以上であることを証明する書面（書式例1を参照してください。）
- 〔2〕の大学、短期大学、高等専門学校、大学院等における修得単位は、卒業、在学中、中途退学又は通信教育等にかかわらず算定することができます。放送大学も同様に算定できます。
- 〔2〕の「単位修得証明書（危険物取扱者）」は、書式例2を参照してください。
- 〔3〕の「乙種危険物取扱実務経験証明書」は、事業主等の証明書です。書式例3及び受験願書のB面裏の様式を参照してください。
- 旧大学、旧専門学校、高等師範学校、実業学校教員養成所等の卒業生及び単位修得者、専門学校卒業程度検定試験合格者も受験資格を有する場合があります。詳細はお問い合わせください。
- 過去に甲種危険物取扱者試験の受験申請をしたことのある方は、その時の受験票又は試験結果通知書を提出することにより受験資格の証明書に代えることができます。（コピー可）
- 「願書資格欄記入略称」は、受験願書の「甲種受験資格」欄に記入するものです。

別表 1

化学に関する学科等の例

- 1 名称の一部に「化学」の字句が含まれる学科又は課程
(ただし明らかに「化学に関する分野」と認められないものは除く。(例) 人類文化学科等)
- 2 次の表に示す学科又は課程等

化学に関する学科又は課程等の名称							
ア	安全工学科	コ	工業材料科	セ	製造薬学科	フ	物質生物科学科
イ	医療薬学科		厚生薬学科		生体機能応用工学科		物質生物工学科
エ	衛生薬学科		高分子学科		生体物質工学科		物質生命工学科
オ	応用原子核工学科		高分子工学科		生体分子工学科		物質生命システム工学科
	応用生物科学科		高分子材料工学科		生物応用工学科		物質分子科学科
	応用生物工学科	サ	材料開発工学科		生物機能工学科		物質分子学科
	応用生命科学科		材料科学科		生物工学科		物質理工学科
	応用生命工学科		材料科学工学科		生物資源科学科		プロセス工学科
	応用微生物工学科		材料加工工学科		生物資源利用学科		分子工学科
カ	環境生命科学科		材料学科		生物生産科学科		分子システム工学科
	環境物質工学科		材料機能工学科		生物分子科学科		分子生物学科
	環境マテリアル学科		材料工学科		生物薬学科		分子生命科学科
キ	基礎理学科		材料物性学科		精密素材工学科		分子素材工学科
	機能高分子学科		材料物性工学科		精密物質学科	マ	マテリアル科学科
	機能高分子工学科		材料プロセス工学科		生命理学科		マテリアル工学科
	機能材料工学科	シ	色染工芸学科		製薬学科	ム	無機材料工学科
	機能物質科学科		資源工学科		繊維工学科	ヤ	冶金学科
	機能分子工学科		資源素材工学科		繊維高分子工学科		冶金工学科
	金属加工工学科		システム量子工学科	ソ	総合薬学科		薬科学科
	金属学科		食品科学科		総合薬品科学科		薬学科
	金属工学科		食品学科		素材工学科		薬剤学科
	金属材料学科		食品工学科	ト	塗装科		薬品科学科
	金属材料工学科		食品工業科学科	ハ	醗酵工学科	ユ	有機材料工学科
ケ	原子工学科		食料科学科		醗酵生産学科	ヨ	窯業工学科
	原子力科		森林資源科学科	フ	物質科学科	リ	林産学科
	原子力工学科	セ	製剤学科		物質科学工学科		林産工学科
	原子炉工学科		製糸学科		物質工学科		

別表 2

化学の授業科目例

- 1 名称の一部に「化学」の字句が含まれる授業科目
(ただし明らかに「化学に関する分野」と認められないものは除く。(例) 進化学等)
- 2 次の表に示す授業科目の講義、演習、実験、実習及び実技を含む。

化学の授業科目の名称							
ア	アモルファス物性工学	エ	エレクトロクス材料工学	カ	化工熱力学	カ	官能基変換論
	安全管理学	オ	応化・プロセス工学		化工物理学	キ	機器分析
	安全工学	カ	回折結晶学		化工流体工学		機能高分子学
	安全防災工学		界面工学		化石エネルギー		機能性高分子材料学
イ	移動現象論		界面制御学		火薬学		機能性材料工学
	移動速度論		界面電子工学		ガラス工学		機能性触媒工学
	医薬品安全性学		界面物性		ガラス材料		機能性有機材料
	医薬分子設計学		科学史		ガラス状態論		機能セラミック論
	医用高分子機能学		核燃料工学		ガラス物性		凝固論及び結晶生成
エ	衛生工学		核燃料サイクル特論		環境汚染物質分析学		金相学
	衛生薬学		核融合概論		環境物質工学		金属学
	栄養学		核融合工学概論		感光物性論		金属加工学
	エレクトロセラミックス		化工熱工学		岩石学		金属工学

キ	金属材料学 金属材料工学 金属製錬学 金属組織学 金属の相変態 金属表面处理 金属物性	サ	材料解析 材料開発工学 材料科学 材料加工学 材料強度学 材料強度物性学 材料結晶学 材料工学 材料構造解析学 材料精製工学 材料精密工学 材料組織学 材料組織形成論 材料熱力学 材料反応学 材料物性学 材料物理工学 材料プロセス設計 錯塩基及び酸化還元	セ	生体分子工学 生体分子反応 製鉄製鋼耐火物 生物機能開発学 生物機能工学 生物機能利用学 生物工学 生物資源科学 生物資源利用学 生物反応工学 生物物性学 生物分子科学 生物薬学 精密材料物性 精密素材工学 精密分離工学 精密有機合成特論 製菓学 生理活性物質学 精錬漂白論 石油開発工学 石油生産工学 接合学 接着及び接着剤 接着学 セメント工学 セラミック科学 セラミック基盤材料 セラミック工学 セラミック材料学 セラミックス概論 セラミックス材料工学 セラミックス電子材料 セラミックプロセッシング セルロース科学 繊維高分子工学 選鉱学 先端材料物性特論	テ	電解反応 電気材料学 電気電子材料科学 電気電子材料学 電極反応論 電子材料 電子物性 伝熱工学 ト 同位体地球科学 毒劇物学 特殊機能セラミックス 毒性学 毒物学 土壌学 塗装学 塗料工業科学 ニ ニューセラミック特論 ネ 燃烧学 燃烧工学 燃烧熱工学 燃烧物理科学 粘土工学 燃料工学 燃料工業 燃料燃烧潤滑論 燃料燃烧論 燃料分析学 ノ 農薬学 ハ バイオテクノロジー バイオプロセス工学 培養工学 爆発工学 薄膜材料工学 醗酵学 醗酵工学 醗酵工業論 醗酵生産学 パ ル プ 学 パ ル プ 工 学 半 導 体 工 学 半 導 体 材 料 半 導 体 デ バ イ ス 工 学 反 応 工 学 反 応 性 物 質 材 料 反 応 操 作 反 応 速 度 論 ヒ 非 金 属 材 料 非 晶 質 科 学 微 生 物 遺 伝 学 微 生 物 学 微 生 物 機 能 学 微 生 物 工 学 非 鉄 材 料 学 非 平 衡 論 表 面 ・ 界 面 工 学 表 面 工 学
ケ	計算溶液特論 結晶回折 結晶材料工学 結晶評価工学 原子エネルギー工学 原子核工学 原子力工学 原子炉材料学 原子炉燃料	シ	色彩工学 色染実験 システム安全工学 焼結固体反応論 焼成材料 醸造学 醸造工学 醸造工業概論 状態方程式特論 触媒工学 触媒設計 触媒反応工学 食品衛生学 食品栄養学 食品科学 食品工学 食品工業微生物学 食品分析学 植物分子生物学 人工結晶 人造繊維工学 新薬論 水質学 製剤学 製剤工学 製紙科学 製紙学 製紙工学 製造薬学 生体機能工学 生体機能電気科学 生体機能利用学 生体工学 生体高分子学 生体触媒学 生体光反応学	ソ	相平衡論 相変態論 素材工学 タ 耐火物概論 耐熱材料特論 多結晶材料工学 単位操作 単位反応学 単結晶材料工学 蛋白質工学 チ 超高温材料 調剤学 テ 鉄鋼材料学 鉄鋼表面处理 鉄冶金 定性分析 定量分析 電解製錬工学	ト	ニ ニューセラミック特論 ネ 燃烧学 燃烧工学 燃烧熱工学 燃烧物理科学 粘土工学 燃料工学 燃料工業 燃料燃烧潤滑論 燃料燃烧論 燃料分析学 ノ 農薬学 ハ バイオテクノロジー バイオプロセス工学 培養工学 爆発工学 薄膜材料工学 醗酵学 醗酵工学 醗酵工業論 醗酵生産学 パ ル プ 学 パ ル プ 工 学 半 導 体 工 学 半 導 体 材 料 半 導 体 デ バ イ ス 工 学 反 応 工 学 反 応 性 物 質 材 料 反 応 操 作 反 応 速 度 論 ヒ 非 金 属 材 料 非 晶 質 科 学 微 生 物 遺 伝 学 微 生 物 学 微 生 物 機 能 学 微 生 物 工 学 非 鉄 材 料 学 非 平 衡 論 表 面 ・ 界 面 工 学 表 面 工 学
ク	高温材料 高温反応工学 光学活性体合成論 高機能材料特論 高機能材料プロセス特論 工業火薬学 工業材料 工業排水処理 工業爆薬学 工業反応速度論 工業微生物 工業分析 格子欠陥 公衆衛生学 高重合反応 合成鉱物 抗生物質 厚生薬学 合成薬品製造学 構造用金属材料 酵素利用学 鋼中非金属介在物 鉱物学 高分子科学 高分子学 高分子工学 高分子合成 高分子構造 高分子固体構造論 高分子コロイド科学 高分子材料学 高分子反応 高分子物性論 固相変態論 固体反応 固体表面科学 固体物性論 固体平衡論 コロイド学	ス	セ	ソ	ト	ニ ニューセラミック特論 ネ 燃烧学 燃烧工学 燃烧熱工学 燃烧物理科学 粘土工学 燃料工学 燃料工業 燃料燃烧潤滑論 燃料燃烧論 燃料分析学 ノ 農薬学 ハ バイオテクノロジー バイオプロセス工学 培養工学 爆発工学 薄膜材料工学 醗酵学 醗酵工学 醗酵工業論 醗酵生産学 パ ル プ 学 パ ル プ 工 学 半 導 体 工 学 半 導 体 材 料 半 導 体 デ バ イ ス 工 学 反 応 工 学 反 応 性 物 質 材 料 反 応 操 作 反 応 速 度 論 ヒ 非 金 属 材 料 非 晶 質 科 学 微 生 物 遺 伝 学 微 生 物 学 微 生 物 機 能 学 微 生 物 工 学 非 鉄 材 料 学 非 平 衡 論 表 面 ・ 界 面 工 学 表 面 工 学	
コ	細胞培養学						

ヒ	表面分析 肥料学	フ	分子解析学 分子機能 分子機能設計学 分子構造論 分子シミュレーション特論 分子情報計測学 分子生物科学 分子生物学 分子設計論 分子素材工学 分子熱力学 分子微生物学 分子薬理学 粉体工学 分離科学 分離工学 分離システム工学 分離装置工学 粉粒体工学	ム	無機材質学 無機材料工学 無機電子制御反応 無機薬品製造学	ユ	有機金属 有機構造解析 有機材料工学 有機材料工業論 有機材料設計 有機材料表面科学 有機材料物性 有機材料レオロジー 有機電解合成論 有機反応機構 有機反応論 有機分析学 有機薬品製造学
フ	ファインケミカル工業分析 複合材料機能学 腐食及び防食学 物質移動プロセス特論 物質科学 物質工学 物質構造解析論 物質構造論 物質生科学 物質生物学概論 物質プロセス工学 物質分析法 物性科学 物性予測論 物性論 物体学 物理薬学 プラントエンジニアリング プロセス工学 プロセスシステム工学 プロセス制御工学 プロセスダイナミクス プロセス熱力学 分光分析 分散系物性学 分子遺伝学	ヘ	平衡論	メ	免疫薬剤学 木材化学 木材成分学 木材糖化論 木質材料学 木質資源化学 木質資源工学	ヨ	融体物有機材料電子物性 窯業工学 窯炉工学
		ホ	放射線計測学 放射線物性計測学	モ	冶金学 冶金工学 冶金反応工学 薬科学 薬学 薬剤学 薬品学 薬品工業概論 薬品製造学 薬品製造工学 薬品分析学 薬物学 薬用植物学 薬理学 薬効学	リ	粒子線結晶学 量子分光学 量子力学 林産学 林産工学 林産製造学 林産物製造学 臨床薬学 臨床薬理学
		マ	膜機能工学 マテリアル工学	ヤ	有有機機器分析 有機機能性材料	レ	レオロジー
		ミ	水処理工学 水処理実験 水の分子工学特論	ユ			

書式例 1 専修学校用受験資格証明書

○○第 号

甲種危険物取扱者試験受験資格証明書(専修学校用)

○○年 月 日 入学 ○○科○○コース
○○年 月 日 修了

氏名 ○○ ○○
年 月 日 生

学校教育法第124条に定める専修学校として認可を受けた日及び文書番号 ○○年 月 日 号	
課程の名称	○○○○専門課程
修業年限	2年
課程の修了に必要な総授業時数	1700時間

上記のとおり証明する。

令和 年 月 日
(専修学校の所在地)
○○専門学校 学校長 氏名 ○○ ○○印

《注》 証明書の書式は例の内容が記載されていれば自由です。

書式例 2 単位修得証明書(危険物取扱者)

○○第 号

単位修得証明書(危険物取扱者)

○○年 月 日 入学 ○○部 ○○科
○○年 月 日 修了

氏名 ○○ ○○
年 月 日 生

化学に関する科目名	修得単位	化学に関する科目名	修得単位
有機化学	4	高分子化学	2
無機化学	4	分析化学	2
燃焼工学	3	反応速度論	2

上記のとおり証明する。

令和 年 月 日
○○大学 学長 氏名 ○○ ○○印

《注》 証明書の書式は例の内容が記載されていれば自由です。
《注》 学長等が「化学に関する分野」と認めた授業科目は、原則として、そのまま単位として認めます。

書式例 3 乙種危険物取扱実務経験証明書

乙種危険物取扱実務経験証明書

氏名	(年 月 日生)			
取り扱った危険物	類別	第 類	品名	
取り扱った期間	年 月 日から 年 月 日まで (年 月 日)			
製造所等の別 (該当するものを ○で囲むこと)	製造所・貯蔵所・取扱所			

上記のとおり相違ないことを証明します。

証明年月日 年 月 日

事業所名 印

所在地

証明者 職名

氏名 印

電話番号 ()

※証明書の内容について、問合せする場合があります。

《注》 証明書の書式は例の内容が記載されていれば自由です。

別記 2

受験願書の記入要領

- ・ 受験願書は、本人が記入してください。
- ・ ※印は記入しないでください。
- ・ A面及びB面があり、複写式となっています。折ったり、曲げたりしないでください。
- ・ 黒色のボールペンで、かい書で正しく書いてください。
- ・ 書き損じた場合は、横2本線を引いて、そのすぐ上に正しく書いてください。
- ・ 年月日を記入するすべての欄は、1桁の数字の場合、0を前に付けてください。

< A 面 >

① 都道府県名欄には「兵庫」と記入してください。
② 申請日を記入してください。(例 08年04月〇〇日)
③ 左づめで記入してください。また、カナ氏名の濁点・半濁点は、1マスを使用してください。
④ 左づめで記入してください。外国籍の受験者は、住民基本台帳に記載されている漢字又はパスポートに記載されているアルファベット氏名を記入してください。
⑤ 該当する元号に○を付け、生年月日を記入してください。 本籍の都道府県名を記入してください。外国籍の場合は、「外国籍」と記入してください。 本籍コードは、受験願書B面裏の都道府県等コードを必ず記入してください。
⑥ 郵便番号は、正確に記入し、住所は現に居住している所を都道府県名から記入してください。また、濁点・半濁点が入る場合には、1マスに入れてください。
⑦ 電話番号の局番等の間は1マス使用して「-」でつなげてください。
⑧ 勤務先・学校名等を記入し、職場又は自宅等で連絡の取りやすい電話番号を記入してください。
⑨ 試験日を記入してください。(例 第1回：08年06月07日)
⑩ 受験する試験の種類に○を付けてください。乙種の受験者は、受験する危険物の類を記入してください。
⑪ 試験案内3「試験の実施場所」の受験地(市名)を記入してください。
⑫ 甲種の受験者は、受験資格を受験案内の、別記1甲種危険物取扱者試験の受験資格の表に記載された「願書資格欄記入略称」により記入するとともに、証明書類を受験願書B面裏の各種証明書貼付欄にのり付けしてください。 乙種、丙種の受験者は、記入する必要はありません。
⑬ 乙種第1類又は第5類の受験者で火薬類免状を有する方は、該当する事項に○を付けてください。なお、「受ける」に○を付けた場合には、火薬類免状のコピーを受験願書B面裏の各種証明書貼付欄にのり付けしてください。 既に乙種危険物取扱者免状の交付を受けている受験者は○を付け、乙種免状(表・裏とも)のコピーを受験願書B面裏の既得危険物取扱者免状貼付欄にのり付けしてください。 丙種危険物取扱者の受験者で、5年以上消防団員として、かつ、消防学校の基礎教育又は専科教育の警防科を修了したものに該当する方は○を付け、消防団員歴証明書と消防学校の教育修了証明書を、受験願書B面裏の各種証明書貼付欄にのり付けしてください。
⑭ ⑩と合わせて併願受験又は複数受験をする場合は、⑩以外をここに記入してください。

⑮ 書類等に不備があった場合の連絡手段として、メールによる連絡を希望される方はメールアドレスを記入してください（携帯電話アドレス可）。
 なお、迷惑メール対策等の設定をしている方は、当支部のメールが届くよう、ドメイン指定受信等の設定（ドメイン名 shoubo-shiken.or.jp）を行ってください。

⑯ 3か月以内に①の都道府県以外で受験の申請又は受験した場合は、都道府県コード、試験種類、乙種試験に係る危険物の類、試験日を記入してください。

⑰ 現在の職業等で、該当する箇所に○を付けてください。

⑱ 危険物取扱者免状の有無について、○を付けてください。

⑲ 危険物取扱者免状の交付を既に受けている場合は、試験科目の一部免除、甲種受験資格の有無にかかわらず、該当する種類の元号コード（昭和：3、平成：4、令和：5）、免状交付年月日、交付番号、交付知事、都道府県コードを記入してください。なお、免状のコピー（表面と裏面）を受験願書B面裏にのり付けしてください。

⑳ 免状番号（「免状」の写真の下に記載してある12桁の番号）を正確に記入してください。

< B 面 >

① 振込用紙で振込みの場合

所定の払込用紙を使って、試験手数料を郵便局又はゆうちょ銀行の窓口で払い込んでください（機械振込による払込は不可）。郵便局又はゆうちょ銀行の受付局日附印を確認し、「**振替払込受付証明書（お客さま用）受験願書貼付用**」を**全面のり付け**してください。

注：本人用の「振替払込請求書兼受領証」では受付できませんので、注意してください。また、「振替払込受付証明書（お客さま用）受験願書貼付用」を紛失しても、当センターで責任を負いません。

② 2次元コード経由で振込みの場合

決済完了メールに記載されている**決済完了番号（18桁）**を記入してください。

< B 面裏 >

③ 「実務経験」の受験資格で甲種を受験する方は、会社等の証明が必要です。**会社印及び証明者の印の押印を忘れず**に受けてください。他の書式の証明書でも証明内容が充足していれば支障ありません。

他の受験資格で受験される方、甲種以外を受験される方は、必要ありません。

The image shows three forms side-by-side. From left to right: 1. A remittance slip (払込取扱票) with fields for amount (¥7,200) and recipient information (消防試験研究センター). 2. A request for remittance receipt (振替払込請求書兼受領証) with fields for amount and recipient information. 3. A remittance receipt certificate (振替払込受付証明書) with fields for amount and recipient information, and a date stamp (日附印). The receipt certificate is highlighted with a red border and has a red arrow pointing to it from the text below.

注) ● 本人保管用の「振替払込請求書兼受領証」では無効です。
 ● また、「振替払込請求書兼受領証」は後日必要になる場合がありますので試験が終わるまで捨てないでください。

必ずこの部分を
願書（2枚めの所定位置）に
しっかり貼ってください。

< B 面裏

各種証明書等貼付欄

この部分にのりづけしてください。
 なお、この部分に「振替払込受付証明書」は貼付しないでください。

都道府県等コード表

北海道01	福島07	東京13	山梨19	滋賀25	鳥取31	香川37	熊本43
青森02	茨城08	神奈川14	長野20	京都26	島根32	愛媛38	大分44
岩手03	栃木09	新潟15	岐阜21	大阪27	岡山33	高知39	宮崎45
宮城04	群馬10	富山16	静岡22	兵庫28	広島34	福岡40	鹿児島46
秋田05	埼玉11	石川17	愛知23	奈良29	山口35	佐賀41	沖縄47
山形06	千葉12	福井18	三重24	和歌山30	徳島36	長崎42	外国籍99

乙種免状の交付を受けてから
 2年以上の実務経験で甲種を
 受験される方は必要です。

③

乙種危険物取扱実務経験証明書

氏名			年 月 日生
取り扱った危険物	第 類	品 名	
取り扱った期間	年 月 日から 年 月 日まで (年 月)		
製造所等の区分	・ 製造所	・ 貯蔵所	・ 取扱所
上記のとおり相違ないことを証明します。			
証明年月日	年 月 日		
事業所名			
証明者	役職		
	氏名		
	電話	-	-

甲種危険物取扱者試験を受験する方は、
 各種証明書類（必要事項が記入されており、
 押印されているもの。）を貼付して下さい
 (消防法第13条の3第4項第1号及び第2号)。

証明者が証明した日に受験資格基準を満たすこと

事業所(会社等)の印

証明者の個人印

両方必要です。

既得危険物取扱者免状（コピー）貼付欄

裏

表

※各証明書等について、内容確認のため連絡をさせていただくことがあります。

(B面裏)

危険物取扱者免状の交付を受けている方は、必ず免状のコピー(裏表)を添付すること
 試験科目の一部免除、甲種受験資格の有無にかかわらず必要です。

提出前に いま一度チェックしてください。

- ① 試験日・受験地を間違えて記入していませんか（P.1参照）。
「受験地」は市の名称を記入してください。
- ② 既に「危険物取扱者免状」の交付を受けている方は、免状のコピーは貼ってありますか。（科目免除の有無に関わらず必要です。）
表・裏両面のコピーが必要です。
- ③ 甲種受験資格に係る証明書を貼付していますか。正しいものですか。
（P.6及びP.15参照）
- ④ 試験科目の一部免除を受ける場合は、証明できる書類を貼付していますか。（P.3及びP.6参照）
- ⑤ 受験手数料は受験する種類の金額ですか。

甲 種	乙 種	丙 種
7, 200円	5, 300円	4, 200円

「振替払込受付証明書(お客さま用) 受験願書貼付用」を貼っていますか。
郵便局受付の日附印は洩れていませんか。

※2次元コード経由で払込みの場合は、必ず**決済完了番号(18桁)**を**受験願書B面に記入**してください。

- ⑥ 複数種類受験者又は併願受験者は、願書をホッチキスで留めていますか。

※ 受験資格又は科目免除で必要とする書類等が旧姓で現在の姓と一致しない場合、**新旧の氏名が確認できる書類等も併せて送付してください。**（例：戸籍抄本、住民票等）

*受験に必要な写真は、送付されてきた**受験票**（書面申請者）又は出力した**受験票**（電子申請者）に受験者自身で貼付し、試験当日持参することになっています。

これらを忘れた場合は、受験できませんのでご注意ください。

（詳細は、15 受験票の送付と写真の貼付（P.9）を参照）

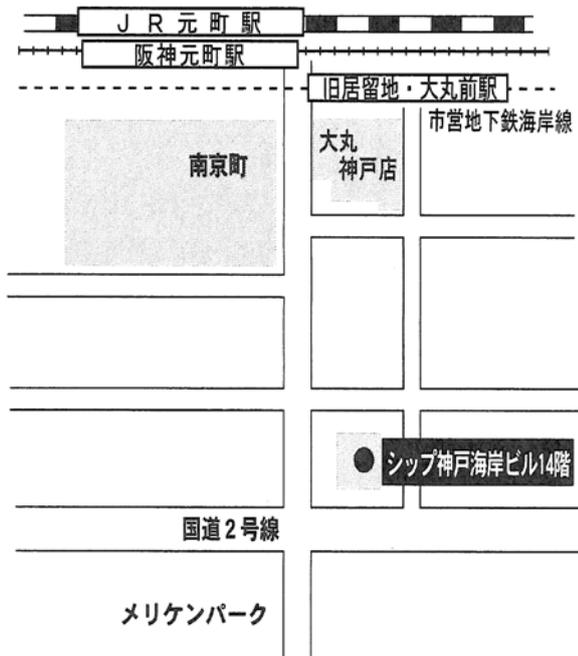
受験者の皆様へ

◎試験におけるマスクの着用について

新型コロナウイルス感染症対策としてのマスク着用については、政府の示す方針に従い、個人の判断によることとします。

ただし、咳等の症状がある場合や、借用会場の都合等により、感染対策上の理由からマスクの着用をお願いする場合がありますのでご承知おきください。

試験会場ごとの注意事項がある場合は、兵庫県支部のホームページ等や受験票でお知らせしますので、ご確認ください。



●公共交通機関をご利用の場合
JR・阪神元町駅より徒歩10分

●お車をご利用の場合
当センターには来客用の駐車場はありません。

問い合わせ先

受付時間 9:00～17:00
(土日、祝日、年末年始を除く)

●試験に関すること

一般財団法人 消防試験研究センター 兵庫県支部
〒650-0024 兵庫県神戸市中央区海岸通3番地
シップ神戸海岸ビル14階
(電話) 078-385-5799 (FAX) 078-385-5466

●電子申請に関すること

電子申請(インターネットからの受験申請)については、当センターのホームページに詳細な利用方法や、Q&Aが掲載されていますので、電子申請に当たっては、必ずこれをご確認のうえお申込みください。

一般財団法人 消防試験研究センター 電子申請室
(専用電話) 0570-07-1000

※一般財団法人消防試験研究センターは、試験実施機関であり、受験準備のための講習会や参考書等の出版は、一切行っておりません。

※受験番号や試験結果の可否に関する電話による問い合わせ、試験問題及びその解答に関する問い合わせには、一切応じられません。

●免状交付後について

- ・免状の写真は交付日から10年ごとに書換が必要です。書換期限の過ぎた免状をお持ちの方は、至急書換え手続きをしてください。
- ・免状の記載事項(本籍、氏名等)に変更があった場合にも、書換手続きが必要です。
- ・免状を亡失、滅失、汚損等した方は、速やかに再交付の手続きをしてください。